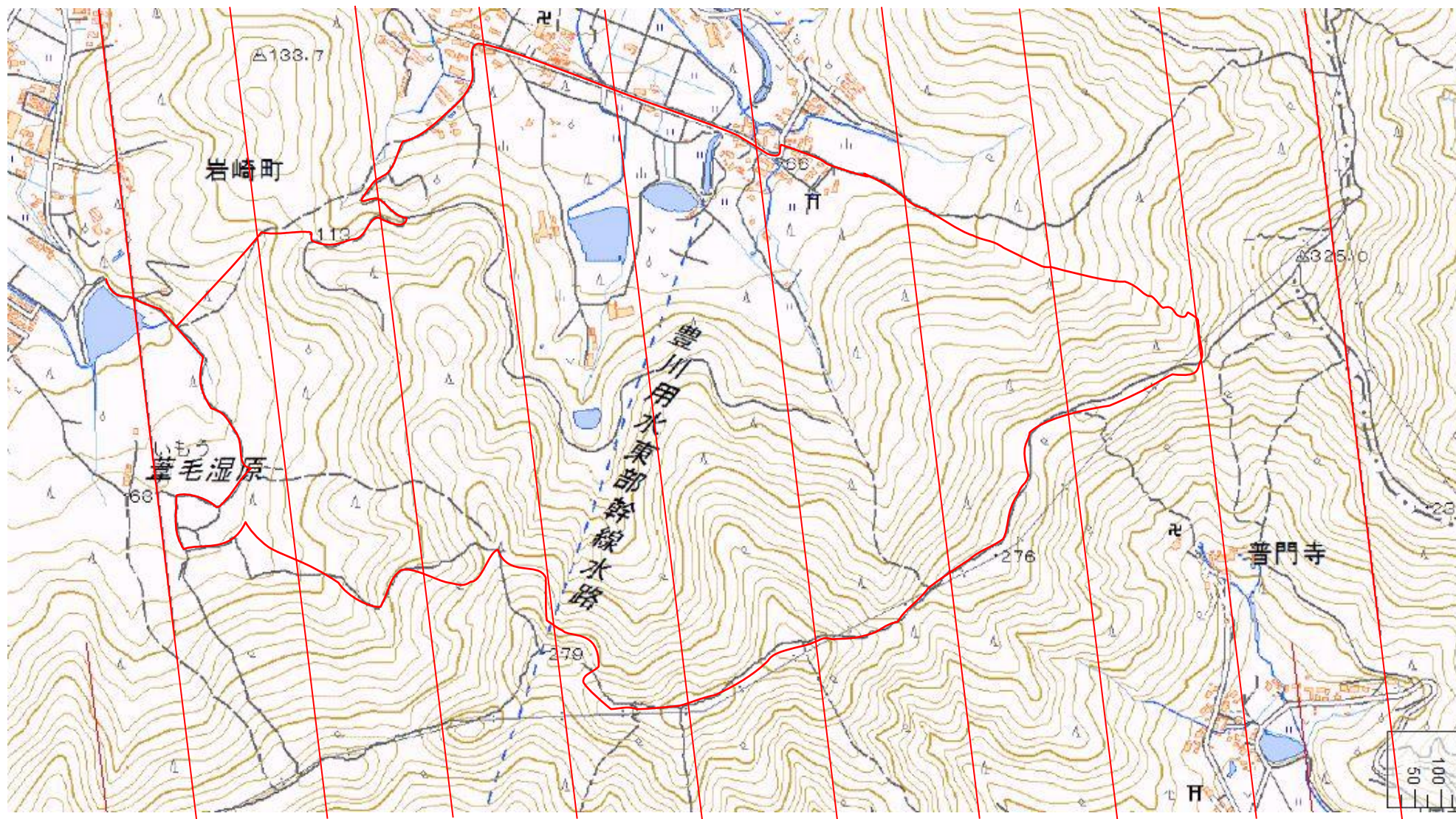
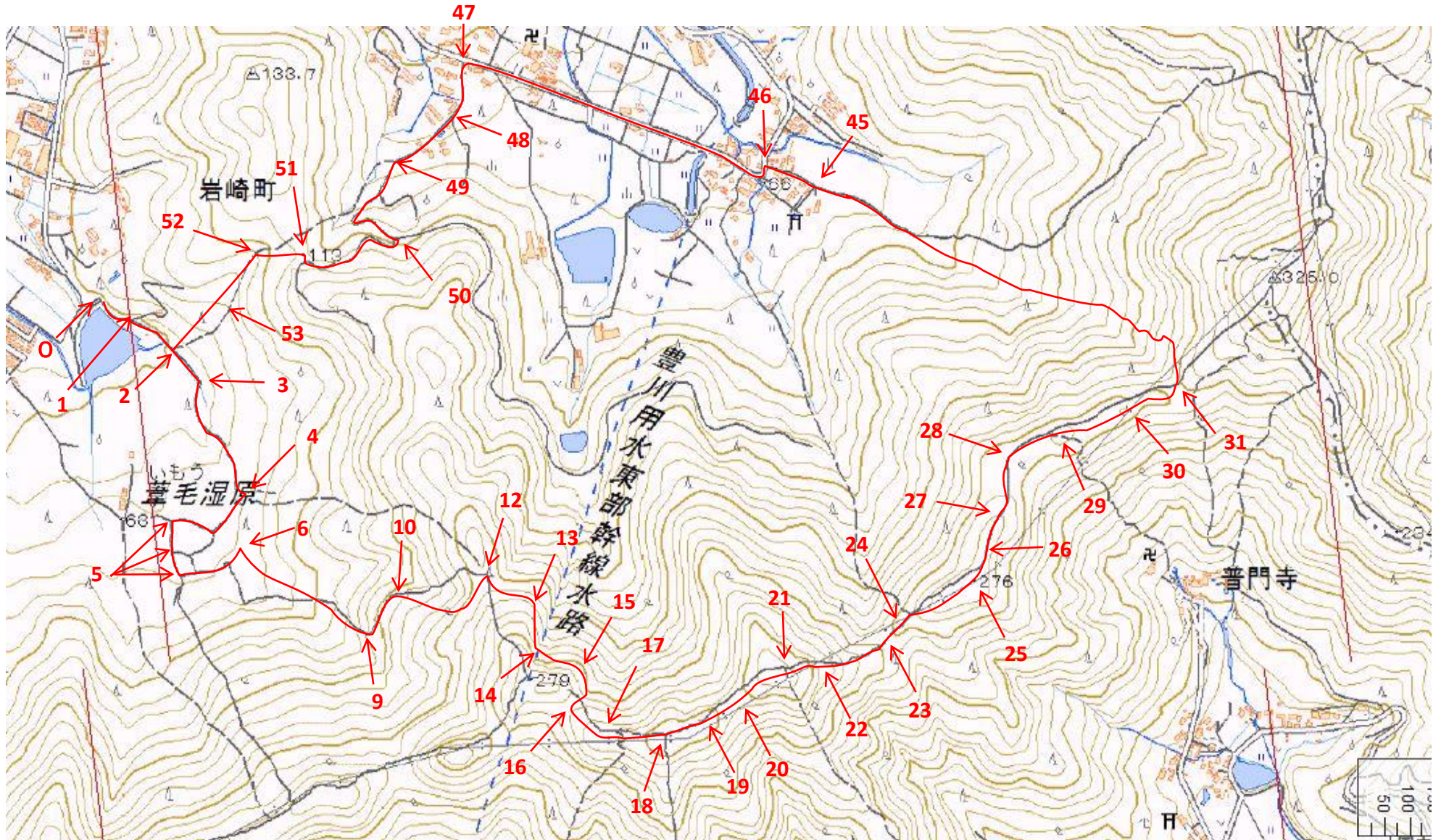


# 葦毛湿原～湖西連邦 独図講習(△力示地図)



韋毛湿原～湖西連邦 独図講習(△力示地図)



## 特徴物の解説

※このコースは、机上での予測と実際のコースが違っていた（地図の道と実際の道が違う）ので番号が飛んでいます。ご了承ください。

### 【0】池の角

スタート地点なので、大きな特徴物としてとらえよう

### 【1】池の角

北東からの道との分岐。南の池の真ん中地点。

### 【2】道の分岐

北東からの道との分岐。池の端から少し進んだところ。（道が廃道となってるので分らない）

### 【3】道の曲がり

右に道が曲がっている。沢がある。

### 【4】道の曲がり

道が曲がっている小さな沢がある。東からの道との分岐。（道が廃道となってるので分らない）

### 【5】道の分岐

それぞれ直角に道の分岐がある。

### 【6】道の曲がり

道が直角に南に曲がっている。（地図の道と実際の道が違う）

### 【9】道の曲がり。

道が直角に北東に曲がっている。尾根へ登る。

### 【10】道の曲がり。

道が緩やかに東に曲がっている。緩やかな尾根上。

### 【12】コル

斜面からコルにでたところ。道も南に直角に曲がっている。

### 【13】尾根。道が曲がる。

緩やかな広い尾根からやや狭い尾根へ。傾斜もやや急からやや緩やかに変化。道もやや曲がっている。この道の緩やかな変化はコンパスを利用すると分かる。

### 【14】沢

沢。

### 【15】尾根

尾根

### 【16】コル

トラバース道からコルへ出たところ

### 【17】道の曲がり

道の曲がり。緩やかな登りから平へ（傾斜転換点）

### 【18】小ピーク

小ピーク。道の分岐。送電線の鉄塔あり。

### 【19】平から下りへ（傾斜転換点）

平から下りへ（傾斜転換点）

### 【20】コル

緩やかなコル。

### 【21】道の分岐

ピークから少し過ぎたところ。道の分岐。鉄塔。

### 【22】頭上の送電線が離れて行く

頭上の送電線が離れて行く。

### 【23】コル

顕著なコル。低いところが広い。

【24】地図に現われない小ピーク

地図に現われない小ピーク。等高線が少し膨らんでいる。

【25】道の曲がり

道の曲がり。頭上の送電線が離れて行く。

【26】少し低い

左右の等高線がくびれているので低くなっている可能性がある。

【27】平から緩やかな下りへ（傾斜転換点）

平から緩やかな下りへ（傾斜転換点）

【28】道の曲がり

東へ90度近く道が曲がっている。尾根が広い。

【29】小ピーク

小ピーク。

【30】頭上に送電線

頭上に送電線。

【31】コル

顕著なコル。

【45】道の分岐

民家が現れ、道の分岐。

【46】道の分岐

アスファルト道に出た道の分岐。ここを南へ曲がる。

【47】道の分岐

道の分岐。ここから再度山に入るので、確認しておきたい。

【48】道の分岐

南からくる道との分岐。進路は南西へ伸びている道となる。民家がまだある。

【49】道の分岐

南からくる道との分岐。進路は西へ伸びている道となる。

【50】道の分岐

道の分岐

【51】113標石

113標石。コル

【52】沢の分岐

沢の分岐

【53】道分岐

51番から53番までは、道はなく、コンパスによる直進が必要です。（講習には注意が必要です。）

## 登山実技：読図のポイント

### ①特徴物とは

今更、言うまでもないが、尾根、沢、道の曲がり、傾斜転換点、ピーク等様々なものがある。今回のルートでは、比較的難易度の高い特徴物がある。特徴物の発見がストレートに読図は楽しい。という感覚につながって欲しい。



## ②現在位置確認

特徴物を発見し、自分の居場所を特定する訳だが、難易度A(易しい)場所は、自信を持てるが、難易度C(発見しにくい)では自信が持てないところもある。その時は、等高線が読めていないのか、コンパス技術がないのか、距離感がないのか、体力不足により集中力が低下しているのか問題点をはっきりさせることにより、読図力の向上スピードが上がる。

## ③予測

現在位置を確認したら、次の場所までの予測が大切である。予測をすることによって、小さな変化も逃さない習慣が身についてくる。また、実際の登山では道迷いの防止に最大限の成果を発揮する。予測は読図の最も大切なポイントであり、「読図のポイントは何ですか？」と尋ねられたら、私は迷わず「予測をすることです」と答えます。

## ④予測とは

予測の方法は、次の特徴物までの進む方角は〇〇の方向だ。距離は〇〇mだ。続くの特徴物は〇〇だ。(コル、尾根分岐、沢分岐、傾斜転換点、ピーク、etc...)という方法が一般的で、自分にとって分りやすい特徴物を選らぶ事が大切で、だんだん難しい特徴物の予測へ段階を踏むとよい。